

## リブインピース@カフェ「戦争法で軍事費膨張！ どうなる生活！？」(2)

### 教育予算はこれでいいのか！～子どもの貧困、奨学金でローン地獄、経済的徴兵制・・・

2016年4月3日 N

(はじめに)

前回のカフェで軍事費突出の2016年度予算を問題にし、教育予算を検討していく過程で日本の子どもや若者たちが置かれている深刻な状況についても知ることになり、これはもう来年度予算の枠組みでの増減という次元の問題ではないと思いました。

「保育園落ちた 日本死ね」のブログをきっかけに「保育園待機児童問題が、そして国会でも子どもの貧困、ローン地獄の奨学金問題なども取り上げられるようになっていきます。学生・若者が参加する戦争法反対のデモ(2/21、3/6など)で、自分たちを取り巻く環境悪化に対する切実な要求が出始めています。「奨学金を給付にせよ」、軍事費を削って教育予算に回せ、「最低賃金1500円」などなど。

しかし安倍首相が言及する対策は、児童養護施設の子どもの限った奨学金返済免除や、貧困層の子どもも含めた人材育成教育などあまりにも子どもたちが置かれた実態からかけ離れています。

リブインピースでは、昨年夏頃に「経済的徴兵制」を取り上げましたが、単に「自衛隊に取られるか取られないか」「取られなければいい」という問題ではなく、「自衛隊に行くか年収100～200万円の非正規掛け持ちか」「自衛隊か風俗か」のような究極の選択を現に迫られている学生が多数いるということです。このような過酷な環境は、単に生活の問題にとどまらず子どもや若者の考え方や社会認識、精神に深刻な打撃を与えることになります。

日本は財政危機ですが、政府が出したいところには借金してでも使っています。軍事費は突出し、戦争準備最優先、被災地では公共事業として誰も望んでいない防潮堤建設が強行され、総額3兆円のオリンピックが華々しく準備されようとしています。子どもや若者の教育、老後の安心のために使う予算は惜しい。それが現在の安倍政権です。

今回のカフェでは、自分自身が驚いたり、認識が変わったりしたところを中心に報告します。教育の問題は一人一人が歩んできた経験と深く関わるので簡単ではありません。「自分は貧しい家庭でがんばって進学した」「本人の努力の問題」「貧しさのせいにするのは甘ったれている」「子どもの貧困は親の問題」「大学は希望して行くのだから、学費を自分で払うのが当然」「カネを借りたら返せ」などの考え方も根強くあります。ところが「ほとんどの国では大学の授業料は無料、奨学金は返さなくていい」などの事実を知ると、日本の常識は世界の非常識であることがわかります。

今回のカフェでは、子どもや若者が置かれた状況について考えるきっかけにしたいと思います。

#### 一部 奨学金問題

ビデオ視聴「そもそも社会に出る若者が700万円の借金を背負って生活苦ってどうなんですか」	1:40～1:55
報告	1:55～2:15
質疑、議論(補足、それぞれの事情など)	2:15～2:50
休憩	2:50～3:00

#### 二部 子ども貧困

ビデオ視聴「貧困を追う 子供達の現実」	3:00～3:15
報告	3:15～3:35
討論	3:35～3:55
「経済的徴兵制」(任官拒否倍増など)	3:55～4:05

今後の取り組みなど	4:05～4:30
-----------	-----------

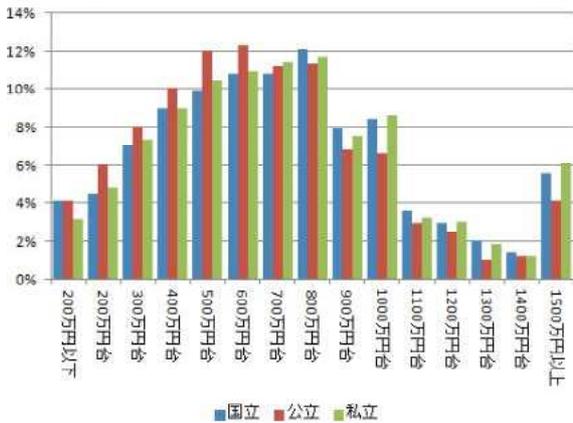
## [高騰する大学学費と奨学金返済地獄]

### (1) 学費 (別紙参照)

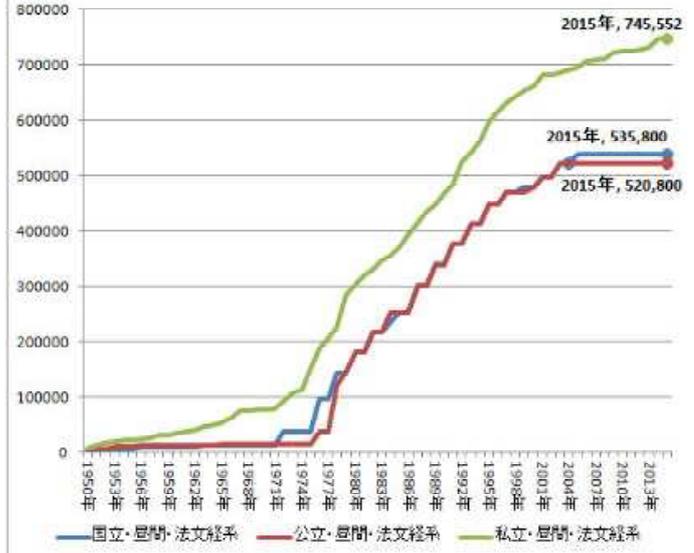
- 現在の大学生は、かつての学生生活の時代とは全く異なる環境にある。

	入学金	+	授業料	=	初年度納付金
国立大初	282,000		535,800		817,800
私立文学・社会福祉	100,000 ~	440,000 +	600,000 ~	1,190,000 =	930,000 ~ 2,042,760
法・経	120,000 ~	300,000 +	610,000 ~	1,056,000 =	963,300 ~ 1,763,000
理・工	100,000 ~	500,000 +	600,000 ~	1,111,000 =	943,430 ~ 3,392,660

世帯年収別・学生数の割合(2012年)  
(各学校種類における学生数全体に占める割合)

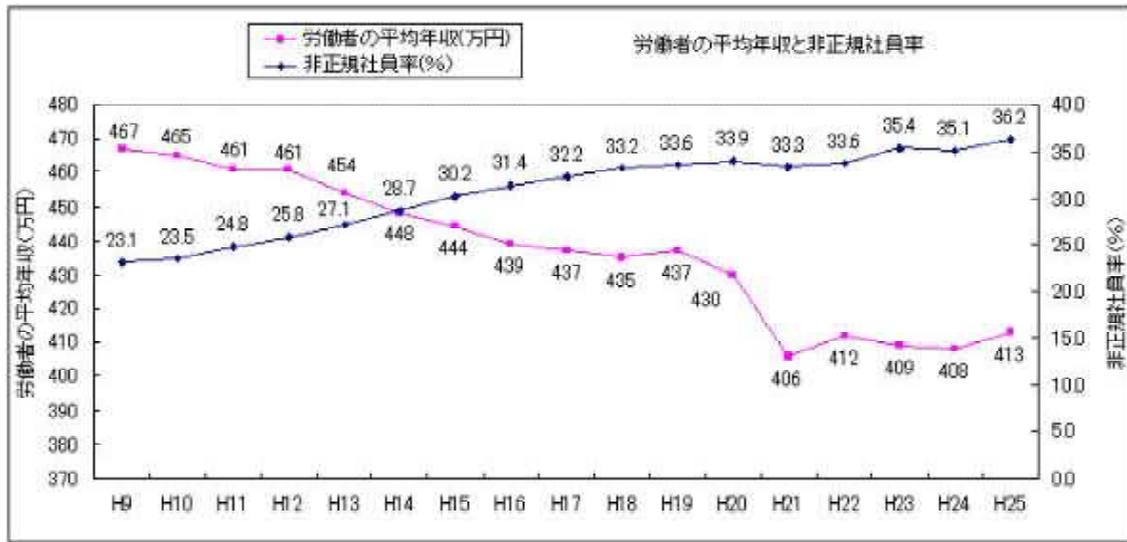


東京都の大学授業料推移(1950年~2015年)(円)  
(2015年は直近月)(年間)



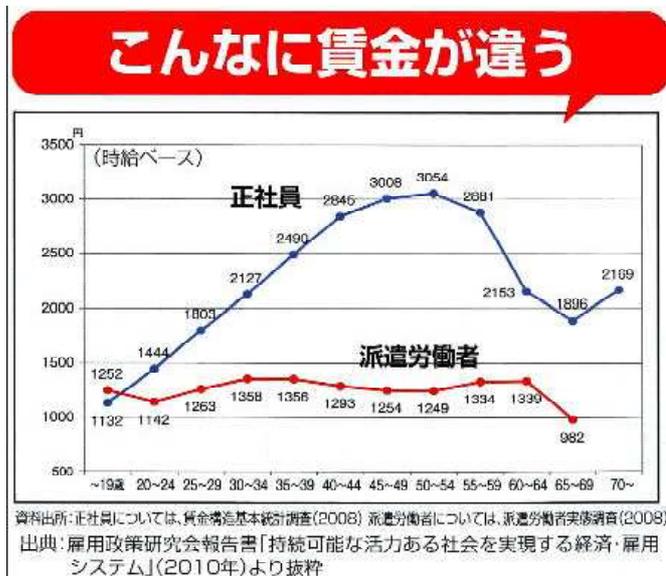
### (2) 学生を取り巻く環境

- 現在の大学進学率は50%を超える。大卒がスタンダードになりつつある。「これだけの金をかけて大学に行く価値があるのか」という問いを超えている。
- これは労働者の平均年収が450万円(中央値は300万円くらい)として、200万円以下、300万円代の家庭の子どもも大学進学している(せざるを得ない状況に追い込まれている)ということ。
- 想像を超えた家計負担。家計の半分以上を学費が占める。多くの家庭が教育ローンを組むか、学資保険に入るか、有利子奨学金を借りるかの選択をしている。相当の覚悟と準備をしなければ大学に通わせることは出来ない。しかし行かないわけにはいかない。



### (3) 奨学金

- ・奨学金を借りている学生（学部生）は 52%に達する。有利子奨学金を借りた場合、卒業時に 400万円、600万円、1000万円の負債を抱えている。この返済を迫られる。
- 滞納と不払い訴訟が激増。（東京新聞連載新貧乏物語 悲しき奨学金①～⑦記事参照）
- ・大学を卒業し正社員になれば収入の面では返済可能だが、非正規、不安定雇用の職であれば、返済自体が困難を極める。
- ・奨学金の貧困ビジネス化。



### 日本学生支援機構の奨学金規模の推移



### (4) 諸外国の現状 (別途報告)

主要国の多くは奨学金は給付。返済義務はない。大学の学費も無料またはやすいところも多い。学費無料、奨学金給付がないのは日本だけ。

### (5) 自己責任、自助・自立のおしつけ

「私費負担」と「努力主義」。

日本の場合、大学進学が限られた「特権」であった時代のイデオロギー、また高度経済成長のイデオロギーがあり＝自己責任、自己負担が染みついており、「大学に行きたければ自分で金を出すのが当然」と思われてきた。限られた上層階級の子どもが通い、学費も年間1万円程度であった時代の意識をひぎずる。

そもそも、大学の学費が40年間で30倍、50倍になるというのは異常。

- ・非正規が4割、新たな雇用情勢のもとで、経営の側が「大卒」を当然のように要求する一方、「大卒」を使い捨てる。

※商業高校、工業高校の没落

### (6) 雇用情勢の悪化とブラックバイト

- ・ブラックバイトの蔓延。大学生アルバイトが過酷な労働現場の中心を担う、担わされる。  
バイト目的の変化 娯楽、教育から生活費へ。  
仕送り額の激減（12万→7万）  
学生が自由に使えるお金は一日2400円から900円へ。
- ・奨学金女子学生を食い物にする風俗産業。

異常な負担。

自らの教育のために身を削らなければならないというのであれば、教育を受ける権利はないに等しい。



気軽に登録制バイトから高額な各種モデルまで  
目的別プラン!

短期完結	毎日完結	登録制完結
最短2日での完結が可能!	毎月3万円ずつ確実に返済したい場合	奨学金登録人紹介サービス
<b>奨学金返済</b> 前払以上 <b>資格要件</b> 18~28歳まで中心女性 <b>プラン内容</b> パーティアシスト、社コンパニオン、モデル、アイドル、タレント、イベント、学生アシスタントなどの登録制により返済金を提供するプランです。 <b>得意な職種</b> 学生寮などでイベントアシスト、モデルコンパニオン、タレント、学生アシスタント	<b>奨学金返済</b> 1万5千円以上 <b>資格要件</b> 20歳以上の女性 <b>プラン内容</b> アイドル、タレント、モデル、学生アシスタント、イベントアシスタントなどの登録制により返済金を提供するプランです。 <b>得意な職種</b> 学生寮などでイベントアシスト、モデルコンパニオン、タレント、学生アシスタント	<b>奨学金返済</b> 1万円〜 <b>資格要件</b> 18歳以上・清潔感のある女性 <b>プラン内容</b> 専任モデル、タレント、学生アシスタント、イベントアシスタントなどの登録制により返済金を提供するプランです。 <b>得意な職種</b> 学生寮などでイベントアシスト、モデルコンパニオン、タレント、学生アシスタント

>>> 詳細情報はこちら

奨学金を滞納すると人生が終わるかもしれない...

月末までに3万円必要!

一括請求の通知が来た

とにかく督促から解放されたい...

ひとりで悩んでいませんか?